



アントロポソフィー医療講座

子どもの体質を観る

～子どもの傾向を知り、理解するために～

子どもたちは、自ら望んで私たちの元へやってきてくれます。

どの子も、その子自身の意志と運命の導きで。

私たちは、子どもの周囲で、その子自身の発達や成長を支えたいと願っています。

でも、日々の生活や病気をする中で、うちの子は少し変わっているのかしら？

どうして他の子とちがうの？と、疑問をもつことがありますよね。

もちろん、子どもをめぐる環境や育ち方は一人ひとり異なっているので、

その影響も大きいのですが、その子自身が携えてきた傾向もあると思います。

今回は、子どもをより深く理解するために、その子自身がもともと持っている身体の傾向（体質）、バランスを知るための観方をお話したいと思います。



日時 2015年11月13日(金) 10時～12時

場所 たんぽぽこども園（福津市宮司浜3-6-8）

参加費 1500円（NPO法人賢治の学校ふくおか正会員1000円）

講師 安達 晴己（医師、アントロポソフィー医学認定医師）

託児 800円（要予約）

当日のキャンセルは保育料のみ全額いただきます

講座お申し込み

名前

住所

電話番号

託児のお申し込み

名前

年齢（月齢）

アレルギー 無し ・ 有り

※持ってくるもの…着替え、帽子

託児申し込み締切 11/6まで

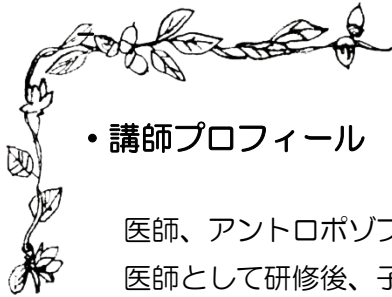
※ 次回のアントロポソフィー医療講座は、2016年2/21（日）です

<主催・お申し込み・お問い合わせ>

NPO法人賢治の学校ふくおか 事務局

〒811-3311 福岡県福津市宮司浜3-6-26 tel&fax 0940-52-0886（牧野）

e-mail: kenji-fukuoka@ac.auone-net.jp http://www.kenjinogakkou-fukuoka.com



・講師プロフィール 安達 晴己

医師、アントロポソフィー医学認定医。

医師として研修後、子育てを通してシュタイナー教育と出会う。

賢治の学校ふくおかの活動に参加。親としてたんぽぽこども園の設立に関わる。

現在も理事、園医を務める。

2010年アントロポソフィー医学の認定医を取得。

通常医学の診療所に非常勤として勤務。アントロポソフィー医療を自由診療で行う、

小さいうち自由クリニックを福津市に2011年11月に開所。

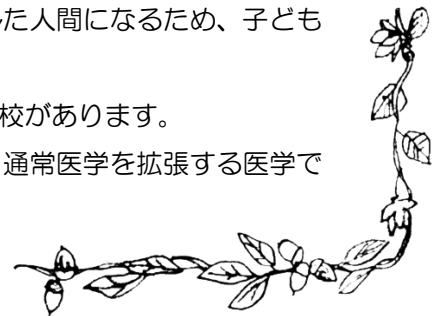
日本アントロポソフィー医学のための医師会代表。二児の母。

・シュタイナー教育とは

20世紀はじめにドイツのルドルフ・シュタイナーによって提唱されたアントロポソフィーという学問に基づいた教育です。大人になった時、真に自由な自立した人間になるため、子どもの発達段階に即した教育をおこなっています。

世界中で1000校を超える学校があり、日本でも8校の全日制の学校があります。

アントロポソフィー医学はシュタイナー教育と同じ人間観を持ち、通常医学を拡張する医学であり、世界中で研究、実践されています。



・賢治の学校ふくおかは

「子どもたちが生きる希望の持てる社会をつくろう、大人の責任において」を基本理念として子どもが本当に自由な大人へと成長していくことを目指すシュタイナー教育を手掛かりに、子どもたちが安心して過ごし成長していける場を親と教師がともに作っていきます。現在、保育施設「たんぽぽこども園」を中心に小学生土曜クラス、未就園児親子クラス、大人のため学習会などを主催しています。

<お問合せ先>



NPO法人
賢治の学校ふくおか

〒811-3311 福岡県福津市宮司浜3-6-8
tel&fax 0940-52-0886 (牧野)
e-mail: kenji-fukuoka@ac.auone-net.jp
<http://www.kenjinogakkou-fukuoka.com>